

- PET-CT検査装置を導入
- 先進医療のご紹介
- 病院ホームページをリニューアル!
- シリーズ「医療用語解説」第4回
- 寄せられたご意見と回答

PET-CT検査装置を導入

平成26年2月より『PET-CT検査装置』を導入しました。
PET-CT検査は最先端のがん画像診断検査の一つであり、従来の検査と組み合わせることのがんの診断、治療により威力を発揮することができます。



放射線部



PET-CTとはPETとCTが一体となった筒状の装置です。PETとは、日本語で「ポジトロン断層撮影法」といい、ポジトロン放出核種という、放射能を持つ薬剤（ラジオアイソトープ）を体内に注射し、その集まり具合（集積）をみる検査で、ブドウ糖に似たラジオアイソトープ¹⁸F-FDGを使用し、体内のブドウ糖代謝という機能を利用して集積具合を検出します。CTは

「臓器や病変の形態」を見る検査です。PET-CTはこの二つの利点を組み合わせることで、より正確に診断することができます。

がん細胞は正常な細胞に比べて非常に多くのブドウ糖を消費するといわれています。ブドウ糖に似た検査薬を使用すると、体内で多くのブドウ糖が使われている部位に薬剤が集まります。この分布をみることで、様々な種類の悪性腫瘍の診断をしていきます。

予想外の部位のがんや転移の発見、がんの病期診断の判定にも役立ちます。ブドウ糖に似た検査薬なので副作用の心配がなく、1回に受ける被ばく量は胃の透視検査（バリウム検査）とほぼ同じです。

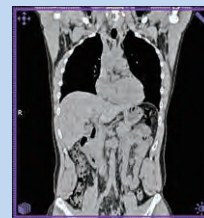
一般には、10mm前後のがん発見も可能といわれますが、集積の程度により検出が困難であったり、大きなものでもがんの種類によっては検出されない場合もあります。

薬剤は脳、心臓、腎臓・尿管・膀胱などの正常臓器にも集積（生理的集積という）するため、これら臓器の病変の評価は困難な場合があります。

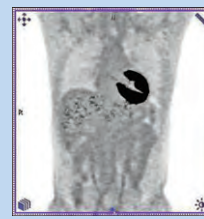
また、活動性の炎症や良性腫瘍に集積する場合があります。

PET-CT検査も万能ではありません。がんの種類により発見・検出できない物があり、他の検査が必要になる場合があることをご理解ください。

詳しくは、主治医の先生、または、放射線部までお問い合わせ下さい。



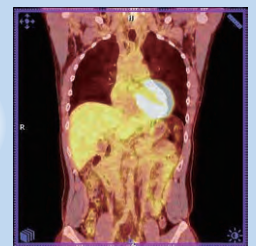
CT



PET



融合

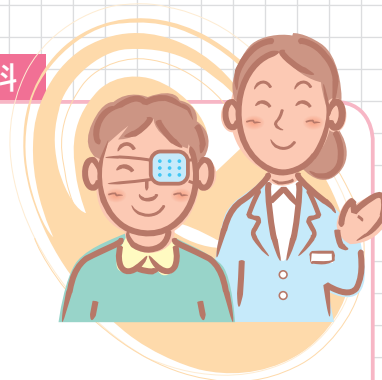


PET/CT

先進医療のご紹介

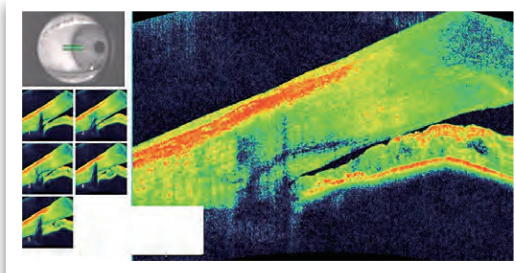
～前眼部三次元画像解析～

眼科

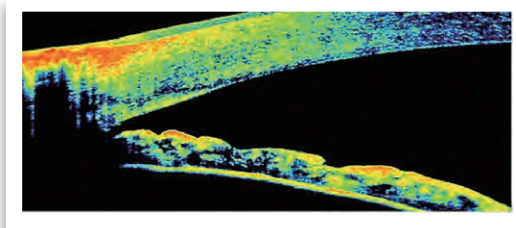


平成25年12月より先進医療の1つである前眼部三次元画像解析検査の実施が可能となりました。

この検査は、光を利用して眼球の断面像を眼球に触れずに撮影することができ、角膜、隅角、虹彩などの病変及び前眼部の構造を3次元かつ数値的に解析できる検査法です。



検査画面



隅角拡大図

従来の装置は眼球に直接検査機器を当てる必要があったため、点眼麻酔が不可欠で患者さんの負担も大きく、時間もかかるという欠点がありました。新しい検査装置は眼球に触れることなく時間も数秒で撮影可能なため、患者さんの負担はほとんどありません。

この技術導入により、従来の装置では観察が難しかった角膜の濁りを含む断面像の観察、また、角膜と虹彩とで構成される隅角部の状態を簡単に観察できるようになります。そのため、角膜疾患や緑内障の病態のより深い理解や、病期の診断がより素早く的確にできるようになります。

それにより、薬剤の種類や手術適応の時期、術式の選択、切開部位や切開範囲の選択などを適切に決定することができます。

その結果、薬剤の副作用や手術による侵襲を軽減し、術中術後の合併症を軽減、あるいは未然に予防することができ、より良好な視機能を獲得することが可能となり、治療の質の向上が期待されます。

対象となる疾患

角膜ジストロフィー、角膜白斑、角膜変性、水疱性角膜症、角膜不正乱視、円錐角膜、角膜移植術前後に係るもの、屈折矯正手術前後に係るもの、虹彩異常、水晶体疾患、緑内障など



病院ホームページをリニューアル！

病院管理課・企画調整室

患者さんにとって、より見やすくわかりやすいホームページとなるよう、平成25年11月に病院ホームページをリニューアルしました。ぜひご覧ください。

● リニューアルポイント

- * 利用者別の3つの入口を中央に配置
- * 写真やイラストを添えてわかりやすく
- * 外来診察医予定表と休診情報を同一ページに

● 新規コンテンツ

- * 滋賀医大の特色ある医療
(先進医療、がん診療)
- * 医療の質の指標
(クオリティインディケーター)



URL <http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/>

シリーズ「医療用語解説」第4回 ～出産育児一時金の直接支払い制度～

医療サービス課

当院では、出産時に支払う入院費用の準備金ができるだけ少なくてすむように、『出産育児一時金の医療機関への直接支払制度』をご利用いただくことをお勧めしています。

この制度は、妊婦の方がご加入されている保険者に、当院が妊婦の方に代わって出産育児一時金を請求します。出産費用の総額が42万円の範囲であれば、窓口でお支払いいただく必要はありません。42万円以上の場合は、不足分のみを窓口でお支払いいただけます。また、出産費用が42万円未満の場合は、その差額を保険者に請求することができます。

手続きは、外来の受付で「出産育児一時金の医療機関直接支払制度合意文書」をお渡ししますので、必要事項をご記入のうえ、入院時に6 A病棟へ提出して下さい。

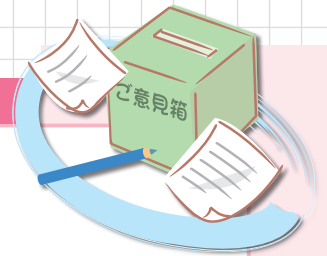
ご不明な点は、母子女性外来または6 A病棟へご相談下さい。



寄せられたご意見と回答

～ご意見箱より～

医療サービス課



当院に対する様々なご意見を気軽にお寄せいただくために、各階にご意見箱を設置しております。これまでに寄せられたご意見と当院からの回答・改善点などをご紹介します。

寄せられたご意見

回答・改善点など

●駐輪場について

駐輪場がいっぱいで駐輪できません。



駐輪場は職員も利用しており、大変ご迷惑をおかけしておりました。

患者さん用と職員用の駐輪場を明確に区分し、患者さん用の駐輪スペースを確保いたしました。



●検査時のアイマスクについて

MRI検査時にアイマスクを置いてほしいのですが。

患者さんの検査時の不安解消のため、使い捨てのアイマスクを設置いたしました。



●駐車場料金について

お見舞いに来た時、1時間はすぐに過ぎてしまい駐車場料金が必要になるので、2時間まで無料にしてほしいです。



駐車料金は、駐車場の管理（ゲートの維持管理、整理員の配置、舗装、除草等の環境整備）の費用に充てられていますので、ご理解をいただきますようよろしくお願いいたします。

貴重なご意見をありがとうございました。できるだけご要望にお応えできるよう努力いたしておりますが、不十分な点多々あると存じます。

皆さまのご意見を糧として職員一同一層精進していく所存ですので、これからも率直なお声をお聞かせください。また、改善するにあたり皆さまのご協力をお願いいたします。



滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する全人的医療」

滋賀医大病院ニュース第42号

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会
〒520-2192 大津市瀬田月輪町
TEL: 077(548)2012(企画調整室)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。

●理念を実現するための基本方針

- 患者さん本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します